

園長だより NO47

卒園式について

刻一刻と変わる状態、学校関係が軒並み休校になって数日が過ぎますが国内の感染者は増えています。国策の成果がわかるのはこれから、まだ、まだ先のことです。この出口の見えない状態に不安を抱かざる得ないも現実、この現実を受け止め、でき得る策をひとり、ひとり、各家庭、保育園が意識して行うことが必須のことである。

先週、トイレットペーパーの不足があつという間に拡散され、そのあおりを受け保育園でも影響を受けました。毎日、仕入れ先の情報を確認、時間があれば店頭に並び、品を確保するのに大変な労力を費やしました。

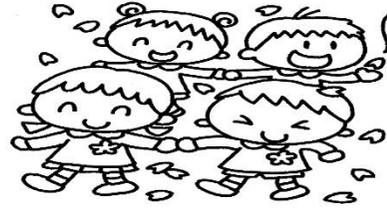
保護者へのご寄付の依頼もお願い致しました。あたたかいご厚情、ありがとうございます。

もう少しで納品の体制も整うだろうと一安心もつかの間、衛生用品の不足は今後も続く、なんとか、保育の営みが維持できるよう今後も努めていきます。

本題にもどります。

卒園式について 本園は行政の開催についての通知(指示)に準じて式を挙行することを決めました。

衛生面での管理徹底に努め、濃厚接触感染に注意し、参加人数の制約等幾つかの対応を保護者に知らせ、協力のもと実施に結ぼうというものです。



やめてしまえば簡単だが

感染拡大防止については式を中止にしてしまえば最大の効果をあげる。

鎌ヶ谷市の公立保育園は早々に保護者参加の式を中止にした。来週には園児と保育者のみで卒園式が行われると言う。

でも、本当にそれでいいのだろうか。

子ども達にとっていいのだろうか

いろいろな考えがある

それぞれが得策と考えたことを実施する。

悩み、考え、協議して決めていることも事実である。

各行政により考えは異なる。感染者がいなければ式を挙行するという方針を打ち出したところも多い。

おおぞら保育園でもでき得る感染予防対応をして実施に向けて進んできた。

あと数日、なんとか やりたい、やってあげたい。この思いは大きい！ 強い！

開催についての上書き通知

ここ2週間、行政からの感染対策の通知が届く、私のPCにはコロナ対策のフォルダーができ作成文書などが日々増える。

感染対策から始まり、保育園で感染者が出た時の対応、卒園式の対応、日常の生活保障について等々、フォルダーはデータでいっぱいである。

当然、その通知や市側とのやりとり、保育関係者との情報交換から卒園式の対応について保護者通知(お願い)は上書きされる。

救いなのはころころと一転していないこと、やるからには(挙行)、こんなことを協力して下さいというものです。

行うことを前提にした協力依頼です。

式の参加についても初めての方、経験はあるけど間があいている方、それぞれ、式のイメージは希薄であるわけです。当然、参加への不安(どうすればいいのかな)を抱く心情は十分、理解しております。

保護者の方々が様々な思いを抱かれることも十分承知しておりますが子ども達とともに参加していただければ式は順調に流れていきます。式ですから形式的に事は進んでいきます。

心からの願い

いろいろと式には制限をお掛けしている印象を持たれる方が多いかと思いますが子

ども達に関わるプログラムは割愛していません。子ども達に取り組んできたことは割愛することはできません。それが願いにあるからです。

保護者の参加有無も検討しました。しかし思い出に刻まれる、人生の節目に立ち会えることの喜びは私も経験してきたから、なんとか一日でも保護者にと考えたのです。

心のファインダーで

この事態の中で式を挙行しようとする様々な方々の力が、協力が、必要なかを痛切に感じています。

安全に衛生面について十分な配慮をして式が行われることが最大の願いです。

写真やビデオの撮影はと心配の念を抱かれる方もいるでしょう。

※撮影については別に文書を掲示いたします。

この事態の中で行われることを十分、ご理解いただきたい、目前の子ども達の姿を自分の目でしっかりと心に焼きつけること、心地よい温かさにつつまれた式の思い出を心に収めて下さい。

こんな状況だからこそ 尚更、しっかりと子ども達に向き合いたいと思っていただきたい。

心から切にお願いします。、子ども達の成長を、門出を、みんなでここから祝える卒園式にしましょう

(園長 廣部 信隆)